

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第2部門第1区分

【発行日】平成21年11月19日(2009.11.19)

【公開番号】特開2007-181809(P2007-181809A)

【公開日】平成19年7月19日(2007.7.19)

【年通号数】公開・登録公報2007-027

【出願番号】特願2006-275307(P2006-275307)

【国際特許分類】

B 05 C 11/10 (2006.01)

B 41 J 2/01 (2006.01)

B 05 C 5/00 (2006.01)

【F I】

B 05 C	11/10	
B 41 J	3/04	1 0 1 Z
B 05 C	5/00	1 0 1

【手続補正書】

【提出日】平成21年10月6日(2009.10.6)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

異なるサイズの媒体に液体を塗布することが可能な液体塗布装置であって、前記媒体を搬送する搬送手段と、

前記搬送手段によって搬送される記録媒体の搬送位置を規制するための規制部材と、

前記搬送手段により搬送された媒体に液体を塗布するための塗布部材と、前記塗布部材に当接して形成される液体保持空間に液体を保持するための保持部材とを備え、前記塗布部材を回転させることにより前記液体保持空間内の液体を前記塗布部材を介して前記媒体に塗布する液体塗布手段と、

前記液体を貯蔵する貯蔵手段と、

前記貯蔵手段内の液体を前記液体保持空間へ供給するための供給路と、

前記液体保持空間内の液体を前記貯蔵手段に回収するための回収路と、

前記保持部材に形成され、前記供給路に接続された供給口と、

前記保持部材に形成され、前記回収路に接続された回収口と、

前記貯蔵手段、前記供給路、前記液体保持空間および前記回収路を含む流路内に液体の流れを発生させるためのポンプとを備え、

前記ポンプは前記回収路に設けられており、

前記供給口は、前記回収口よりも、前記規制部材に近い位置に設けられていることを特徴とする液体塗布装置。

【請求項2】

異なるサイズの媒体に液体を塗布することが可能な液体塗布装置であって、前記媒体を搬送する搬送手段と、

前記搬送手段により搬送される媒体に液体を塗布するための塗布部材と、前記塗布部材に当接して形成される液体保持空間に液体を保持するための保持部材とを備え、前記塗布部材を回転させることにより前記液体保持空間内の液体を前記塗布部材を介して前記媒体に塗布する液体塗布手段と、

前記液体を貯蔵する貯蔵手段と、

前記貯蔵手段内の液体を前記液体保持空間へ供給するための供給路と、

前記液体保持空間内の液体を前記貯蔵手段に回収するための回収路と、

前記保持部材に形成され、前記供給路に接続された供給口と、

前記保持部材に形成され、前記回収路に接続された回収口と、

前記貯蔵手段、前記供給路、前記液体保持空間および前記回収路を含む流路において前記液体の流れを発生させるためのポンプとを備え、

前記ポンプは前記回収路に設けられており、

前記異なるサイズの媒体の搬送位置の基準となる基準位置に対して相対的に近い位置に前記供給口が配置され、前記基準位置に対して相対的に遠い位置に前記回収口が配置されていることを特徴とする液体塗布装置。

【請求項 3】

前記液体塗布手段によって前記液体を前記媒体に塗布している間に前記流路において液体の循環が行われるように前記ポンプの駆動を制御する制御手段を更に備えることを特徴とする請求項 1 または 2 に記載の液体塗布装置。

【請求項 4】

異なるサイズの媒体に液体を塗布することが可能な液体塗布装置であって、

前記媒体を搬送する搬送手段と、

前記搬送手段により搬送される媒体に液体を塗布するための塗布部材と、前記塗布部材に当接して形成される液体保持空間に液体を保持するための保持部材とを備え、前記塗布部材を回転させることにより、前記液体保持空間に保持される液体を前記塗布部材を介して前記媒体に塗布する液体塗布手段と、

前記保持部材に形成され、前記液体保持空間に前記液体を供給するための供給口と、

前記保持部材に形成され、前記液体保持空間から前記液体を排出するための排出口と、

前記液体塗布手段により前記液体を前記媒体に塗布している間、前記液体保持空間内の液体を前記排出口から排出させることにより、前記液体保持空間内の回収口側を前記供給口側よりも負圧にする負圧発生手段とを備え、

前記異なるサイズの媒体の搬送位置の基準となる基準位置に対して相対的に近い位置に前記供給口が配置され、前記基準位置に対して相対的に遠い位置に前記回収口が配置されていることを特徴とする液体塗布装置。

【請求項 5】

前記液体塗布手段により液体が塗布された媒体に対してインクを吐出するための記録ヘッドを更に備えることを特徴とする請求項 1 乃至 4 のいずれか 1 項に記載の液体塗布装置。

【請求項 6】

前記液体は、前記インク中の成分と反応する成分を含有することを特徴とする請求項 5 に記載の液体塗布装置。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0016

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0016】

このような目的を達成するために、本発明は、異なるサイズの媒体に液体を塗布することが可能な液体塗布装置であって、前記媒体を搬送する搬送手段と、前記搬送手段により搬送される記録媒体の搬送位置を規制するための規制部材と、前記搬送手段により搬送された媒体に液体を塗布するための塗布部材と、前記塗布部材に当接して形成される液体保持空間に液体を保持するための保持部材とを備え、前記塗布部材を回転させることにより前記液体保持空間内の液体を前記塗布部材を介して前記媒体に塗布する液体塗布手段と、前記液体を貯蔵する貯蔵手段と、前記貯蔵手段内の液体を前記液体保持空間へ供給する

ための供給路と、前記液体保持空間内の液体を前記貯蔵手段に回収するための回収路と、前記保持部材に形成され、前記供給路に接続された供給口と、前記保持部材に形成され、前記回収路に接続された回収口と、前記貯蔵手段、前記供給路、前記液体保持空間および前記回収路を含む流路内に液体の流れを発生させるためのポンプとを備え、前記ポンプは前記回収路に設けられており、前記供給口は、前記回収口よりも、前記規制部材に近い位置に設けられていることを特徴とする。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0017

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0017】

また、本発明は、異なるサイズの媒体に液体を塗布することが可能な液体塗布装置であって、前記媒体を搬送する搬送手段と、前記搬送手段により搬送される媒体に液体を塗布するための塗布部材と、前記塗布部材に当接して形成される液体保持空間に液体を保持するための保持部材とを備え、前記塗布部材を回転させることにより前記液体保持空間内の液体を前記塗布部材を介して前記媒体に塗布する液体塗布手段と、前記液体を貯蔵する貯蔵手段と、前記貯蔵手段内の液体を前記液体保持空間へ供給するための供給路と、前記液体保持空間内の液体を前記貯蔵手段に回収するための回収路と、前記保持部材に形成され、前記供給路に接続された供給口と、前記保持部材に形成され、前記回収路に接続された回収口と、前記貯蔵手段、前記供給路、前記液体保持空間および前記回収路を含む流路において前記液体の流れを発生させるためのポンプとを備え、前記ポンプは前記回収路に設けられており、前記異なるサイズの媒体の搬送位置の基準となる基準位置に対して相対的に近い位置に前記供給口が配置され、前記基準位置に対して相対的に遠い位置に前記回収口が配置されていることを特徴とする。

また、本発明は、請求項1または2に記載の液体塗布装置であって、前記液体塗布手段によって前記液体を前記媒体に塗布している間に前記流路において液体の循環が行われるように前記ポンプの駆動を制御する制御手段を更に備えることを特徴とする。

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0018

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0018】

また、本発明は、異なるサイズの媒体に液体を塗布することが可能な液体塗布装置であって、前記媒体を搬送する搬送手段と、前記搬送手段により搬送される媒体に液体を塗布するための塗布部材と、前記塗布部材に当接して形成される液体保持空間に液体を保持するための保持部材とを備え、前記塗布部材を回転させることにより、前記液体保持空間に保持される液体を前記塗布部材を介して前記媒体に塗布する液体塗布手段と、前記保持部材に形成され、前記液体保持空間に前記液体を供給するための供給口と、前記保持部材に形成され、前記液体保持空間から前記液体を排出するための排出口と、前記液体塗布手段により前記液体を前記媒体に塗布している間、前記液体保持空間内の液体を前記排出口から排出させることにより、前記液体保持空間内の回収口側を前記供給口側よりも負圧にする負圧発生手段とを備え、前記異なるサイズの媒体の搬送位置の基準となる基準位置に対して相対的に近い位置に前記供給口が配置され、前記基準位置に対して相対的に遠い位置に前記回収口が配置されていることを特徴とする液体塗布装置。

【手続補正5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0019

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0019】

また、本発明は、請求項1乃至4のいずれか1項に記載の液体塗布装置であって、前記液体塗布手段により液体が塗布された媒体に対してインクを吐出するための記録ヘッドを更に備えることを特徴とする。

【手続補正6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0020

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0020】

また、本発明は、請求項5に記載の液体塗布装置であって、前記液体は、前記インク中の成分と反応する成分を含有することを特徴とする。